第６学年　道徳学習指導案

指導者　○○○○

１　主題名　　　（国際理解、親善）　Ｃ－１８

２　資料名　　　「五十五年目の恩返し」（出典：きみがいちばんひかるとき）

　　　　　　　※「六千人の命のビザ」引用

３　本時の目標

・杉原千畝がとるべき行動について話し合う中で、国籍を超えて接し、助け合おうとする心情を養う。

４　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学　習　活　動 | ・教師の支援　　◎評価 |
| 導入  展開  前  ・目の前にいる人々を見殺しにできない。  ・自分にできることを精一杯したい。  展開  後  終末 | **１　杉原千畝について知る。**  みなさんは、杉原千畝という人を知っていますか。  　・知らない。　・少し昔の人かなあ。  　・戦争中に活躍した人だったなあ。  **２　資料を聞き、話し合う。**  杉原千畝は、どんなことで悩んでいるのだろう。  ○何が道徳的問題なのかを知る。  ・「自分の命が危険、自分の権限ではできない」ということ、「ビザの発行を待つユダヤ人を助けたい」という思いの間で悩んでいるんだね。  自分が杉原千畝だったら、ビザを発行するか、ビザを発行しないか、どちらを選びますか。  ○杉原千畝の立場に立って、どうすればよいか考える。  ビザを発行しない  ・ビザを発行することが　難しいから。  ・自分の命が危ない。  ・自分で勝手に発行したら他の人に迷惑がかかってしまうかも。  ビザを発行する  ・ユダヤ人を助けたい。  ・人の命がかかっている。  ・自分の命も危険だが見過ごせない。  ・国籍に関係なく、困っている人を救いたい。  ○話の後半を聞き、杉原千畝の気持ちを考える。  杉原千畝は、どうして命令に背いてまでもビザを発行しようと決意したのだろう。  **３　今日の授業を振り返ろう。**  今日の感想を書きましょう。  　・自分の命が危険でも、多くの人たちの命を救おうとした杉原千畝はすごい。  ・ぼくだったら、怖くてビザを発行することはできないけど、杉原千畝は勇気があってすごい。  **４**　**教師の説話を聞く。**  　◇外国人との違いを理解し共感できた体験を話す。 | ・写真を活用して杉原千畝を紹介する。話の内容をより理解できるよう、戦争中の日本と世界の関係をつかませる。  ・資料は最後まで読まず、杉原千畝が悩んだところで止める。  ・あらすじを確認しながら、杉原千畝が直面している道徳的な問題を理解させる。  **・赤白帽子を活用し、一人一人の考えが視覚的に明確にしなるようにして発表させる。**  ・「そうすることによって、杉原千畝はどうなるだろう」「そうすることによって、ユダヤ人たちはどうなるだろう」と切り返す。  **・途中で自分の考えを変えて良いことも伝え、揺れ動く杉原千畝の気持ちに迫らせる。**  ・杉原千畝の決断から、国籍を超えて助け合おうとする心情を養う。  ・感想を発表し、今日、学んだ道徳的価値について振り返る。  ◎国籍を超えて助け合おうとする心情を養うことができたか。  （話し合い）  ・国籍を超えて助け合っていこうとする意欲を高める。 |